

Space Ideal theory and replaced from time essence to space categories.

Masaaki Yamaguchi

This categories indicate with cell of essence and gravity of influence with genom. This influence create from forever of life with lives.

$$\frac{d}{df}F(x) = m(x)$$

これが、健康体である細胞を表しているヒッグス場の方程式である。

$$\int C dx_m = \int (\int \frac{1}{x^s} dx - \log x) d\text{vol}$$

これが、オイラーの定数の多様体積分が、大域的積分多様体で表せるのを示している。

$$\frac{d}{df}F + \int C dx_m = e^{-f} + e^f$$

この式は、ヒッグス場の方程式とオイラーの定数の多様体積分の加群分解が、ガンマ関数の大域的積分多様体としての、Jones 多項式であることを表している。2 倍の値を取るゼータ関数の指数作用であり、健康体である細胞とガンの真逆のオイラーの定数の多様体積分の加群である。分解して、単体群としての細胞の生命エネルギーをも表している。

$$= 2(\cos(ix \log x) - i \sin(ix \log x))$$

それが、オイラーの公式での虚数の度解であり、この周期が、木星の大善の永遠の生命エネルギーになる。

$$\int f(x) dx = \int \Gamma(\gamma)' dx_m$$

それを端的に表しているのが、上の式のガンマ関数の大域的積分多様体である。

$$= 2(\cos(ix \log x) - i \sin(ix \log x))$$

という式である。

$$\left(\frac{\int f(x) dx}{\log x} \right) = \lim_{\theta \rightarrow \infty} \left(\frac{\int f(x) dx}{\theta} \right) = 0, 1$$

この大域的多様体を対数関数として近似的に表しているのが、上の式である。

$$e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$$

オイラーの公式である。

$$\left(\int f(x) dx \right)' = 2(i \sin(ix \log x) - \cos(ix \log x))$$

それを対数から三角関数へともっていくと、Jones 多項式であることが、周期関数へと同型になっている。

$$= 2(-\cos(ix \log x) + i \sin(ix \log x)) \\ (\cos(ix \log x) - i \sin(ix \log x))'$$

複素関数論の曲率を微分で変換している。

$$= \frac{d}{de^{i\theta}} ((\cos, -\sin) \cdot (\sin, \cos))$$

その変分率を単体としてのオイラーの公式について求めていると、複素線形微分として、ガンマ関数の大域的積分多様体を、複素空間で相互変換できる。

$$\int \Gamma(\gamma)'' dx_m = \left(\int \Gamma(\gamma)' dx_m \right)^{\nabla L} = \left(\int \Gamma dx_m \cdot \frac{d}{d\gamma} \Gamma \right)^{\nabla L} \leq \left(\int \Gamma dx_m + \frac{d}{d\gamma} \Gamma \right)^{\nabla L} \leq (e^f - e^{-f} \leq e^{-f} + e^f)' \\ = 0, 1$$

種数の取り得る、特異点と世界線の種数の極限值を表している。

$$R_{ij} = e^{-f} + e^f, R'_{ij} = -R_{ij} \\ e^{-f} + e^f \geq e^f - e^{-f} \geq \sin \theta \geq \frac{\sqrt{3}}{2}$$

と、度数が $\theta \geq 60^\circ$ 以上で、 $\theta \leq 90^\circ$ 以下の範囲を取る。萬谷先生が、ガンにかかっていながらうつになっている人を専門にしているのを、深谷賢治先生のつぎに、この上の式が、ヒッグス場の方程式が、健康体であり、ガンマ関数の大域的微分多様体がガンの真逆のパールパティエーの永遠の命の方程式であり、ヒッグス場の方程式でもあり、ヒッグス場の方程式がガンマ関数の大域的積分多様体より大であると、健康体であり、小であるとガンとうつが表されている生命工学の式とわかり、彩日記を読んでの発見・発明の式であると言って、彩さん、広島大学医学部と一緒にパールパティエーの母と同じく 5 千歳行きましょう。彩さんは、眼力があり、ウィスパードも本当です。相手の好きな男性の能力も高めます。

1 反重力発生装置の各構成物質

原子振動子 セシウム Cs

形状記憶合金 (Fe・Co60・Pt・Al) H_2SO_4 , Al_2O_3

反重力発生器 Pr(パラジウム合金) 電磁場生成 He, H_2 Mg,Al(摩擦熱)

結晶石 Co60,Pt,Pr の反陽子

緩衝剤 慣性力感知器 有機化合物と S 化合物 (シクロアルカン C_nH_{2n} 方位と位置探知機にも使う

量子コンピュータの量子素子 Pt,Ag,Au (電子と電流のエネルギー経路) 半導体に使う回路の合成演算子

$$x^y = \frac{1}{y^x} \rightarrow$$

$$\pi(\chi, x) = [i\pi(\chi, x), f(x)]$$

$$\frac{d}{df} F = F^{f'}$$

ディスプレイの電磁迷彩 (Al,Mg) \rightarrow S 合成子 SiO_2 プリズム C

2 New atom create element of genom from assential of swift ones

新元素を創るには、ヒントは、遷移元素にある。水素の重元素が、炭素のダイヤモンド格子と黒鉛格子とともに、ヒントになっていて、遷移元素の光量子仮説によって、原子の固有エントロピーを使うと、原子の固有エントロピーの組み合わせ多様体として、NaCl もその例になり、これは、面心立方格子であり、D が陽にも陰にもなり、この重水素が、原子の成り立ちであり、薬の圧縮と同じ原理であり、水素から原子が出来た原理で、骨格が創られて、遷移元素の原子核と電子の固有エントロピーのバランスを利用すると、化合物以上の素材も材料も創られることが、可能である。水素は、典型元素であるが、型が決まっているが、カタストロフ理論で、変えられると おもうし、実際、水素から重水素が短時間であるが、出来ている。遷移元素の光量子仮説を使うと、長時間維持できるとおもう。

人間の 2 3 対である、4 6 染色体は、Jones 多項式による 4 パターンからきている。宇宙人は、この対が崩れている染色体を持っていて、異星人同士で交尾して、多種多様な遺伝子をつくっている。これから最大 2 3 対 4 6 染色体であるが、組み合わせ多様体によって、確率から多くなるパターンがある。染色体の補空間からの逆関数によって、人よりも多くの染色体の組み合わせになっていて、人よりも優勢な遺伝子をもっている。このアイデアは、新原子が遷移元素からの安定エネルギーを利用すると、できることと同型である。富山大学工学部物質生命システム工学科は、4 工学コースは、正しかったと、反省の一言では、済まなかったとおもいます。

3 Space Ideal theory from being replaced time to destroyed of space distribution decided with select of distance, space distribution create with being point to point from being categoried of space geometry series.

Time have dismissed from space ideal theory, and this space ideal concept measure with seeds of manifold from space distance dismiss of time is replaced from differential geometry, moreover, this measure of space categories found by no time and no speed of measure of time, true measure of flow is space ideal of component, this concept discover with not only time exist but also space of oneself in distance of non exist from no time of human being discover of life with live of telomea, after all, this space ideal theory have with being measure of space categories, therefore, time machine have with light constant of relativity from Higgs field of one categories, this categories realized with future, passed, present have with space categories of one example. And this categories have with replace of being from time and space oneself of being measured where was gone. Distribute of space which categories of space ideal concept, In instance, what measure to do is,

$$\frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(x \log x)^2} dx_m \geq \frac{1}{2} i$$
$$\frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(y \log y)^{\frac{1}{2}}} dy_m \geq \frac{1}{2}$$

$$\begin{aligned}\bigoplus (i\hbar\nabla)^{\oplus L} &= \int \Gamma(\gamma)' dx_m \\ &= e^{-x \log x}\end{aligned}$$

These equation mention to measure flow of what passed is heat entropy of space categories. Seeds of movement is time machine of one of being one instance. Universe of person without human being of intelligent people have the other concept of circle of time with the other earth being, and this neckless of concept discover with space ideal of movement of measure without time of measure ones. Differential geometry categories with measure of not only no pass but also point to point from space issues. [reference Kenzi Fukaya, Kaoru Takeuchi, Motoharu Katou, Aya Takashima, Toyama University]